

情報連絡員報告を中心とした 県内の中小企業動向 &トピックス・5月

■味噌製造 **【県下全域】**

原油高騰による製造コストの上昇で売上が増加しても収益は悪化している。

■製材 **【県下全域】**

素材、製材品とも商いは低調傾向にある。原因としては5月の長雨。伐採に適切な時期を一応過ぎたこと。株価が低迷傾向にあることなどが考えられる。

■印刷 **【千葉】**

工業組合は役員改選期だがなり手がいない。組合員も減少し、役員も高齢化して沈滞ムード。

■生コン製造 **【県下全域】**

前月比、前年同月比ともに減少となったが、特別の認識がない。平成18年度の需要予想も前年比92%の見込みである。(昨年度が前年比115%と伸びたこともあり今年度は少し落ち込む見込み)ももう少し模様を見て判断したい。セメント価格、中国砂の輸出禁止、羽田沖の埋め立て需要で砂がタイトになる。ガソリンの値上がりによる輸送費のアップなどコストアップ要因が大きくひびき経営は厳しい見通し。

■電気鍍金 **【県下全域】**

原材料の値上がり幅が大きくなっているが、これを販売価格に転嫁できないため、収益状況は悪化している。大企業の好景気感には中小企業にはまったくない。

■鉄工 **【千葉】**

かなり繁忙感のある企業が多くなっているが、原材料の高騰で、収益改善には至っていない。

■建築材料卸売 **【県下全域】**

好転の兆しなし。値上げも一服し動きがない。雨が多く、荷動きが低迷している。

■自動車解体 **【県下全域】**

大型連休があり、稼働日数が少ないこともあるが入庫台数は極めて低調。背景には新車販売が、11ヶ月連続で前年同月比を割り続けていることも大きく影響している。

非鉄金属市況は、前月に引き続き高値推移を続けている。また、鉄スクラップも若干値を上げた。燃料の値上がりや景気が回復してきたことに影響されて、宅急便の運賃が急騰している。運送業者の中には、不定形のパーツの運送を受けたがらない者も出ている。

業界の全国組織、日本ELVリサイクル機構では、オークション流通の不透明さを指摘するべく調査活動を続けている。オートオークションは、市場メカニズムに基づく競争原理を重要視する国に

とつても、出品者、落札者にとつてもリーズナブルな価格での取引ができるという意味で欠かせない存在だが、自動車リサイクル法逃れの隠れ糞になっていることもかねてより関係者から指摘されていた。オークションで落札されたきわめて低価格の車両は、一時抹消のまま放置され半年、1年経っているものが相当ある。その多くは、解体業者が見ればどう考えても国内で中古車登録されるような車とは考えられず、また輸出される車でもない。

自動車リサイクル法の引き取り報告も上げられていない現状からは、国内で不法に解体処理されている可能性が非常に高いことになる。より多くのオークションユーザーから、これらの不自然な車両をピックアップして、国土交通省に追跡調査を実施するよう要望する。

■食肉卸売 **【県下全域】**

米国産牛の輸入がないため、牛肉価格良好である。

■小売 **【相】**

天候不順が続き、全般に良くない。気温の上昇とともにカジュアルな軽衣料に動きはあるが、フォーマルなものは売れていない。

■電気機器小売 **【県下全域】**

デジタル薄型テレビ等の単価ダウンと近づく大型イベントが相俟つて需要好転の気配あり。

■小売 **【佐倉】**

売上対前年比50・6%、客数57・2%、売上対前月比92・8%客数94・1%

■中古車仕入・販売 **【県下全域】**

5月は記録的低水準で、6月はやや上向く情勢に巻き返しの期待が広がる。(ワンボックスタイプワゴンや高額スポーツテイセダンの商談が目立ってきて、明らかに上向くムードが広がっている)

■小売 **【東金】**

前半は、ゴールデンウィークが低迷し、母の日が前年より1週間遅かったこともあり苦戦した。後半は、多少持ち直したが前年より下回ってしまった。中間層の消費がまだまだ改善されていないため、郊外SCとしては、なかなか厳しい情勢である。

■小売 **【野田】**

ゴールデンウィーク直前、商圈内に3店の大型店が開店。チラシやイベントで対抗したが、期間中の売上は前年比を大きく下回ってしまった。

■農業機械販売整備 **【県下全域】**

日照不足により野菜の生育が悪く、価格が上昇している。農家の収入は変わらず、農機の需要増は全国一の野菜県の千葉ですら期待薄である。天候悪化により病虫害の発生が予想され防除機関係はささやかに増加している。

4・5月横ばい、6月以降、駐車取り締まり強化によって駐車場を所有していない零細商売には大きな影響が予想される。

■建設揚重 **【県下全域】**

引続き稼働率は好調を維持、理由として考えられるのは保有台数の減少が考えられる。

■学習塾 **【県下全域】**

新学期が始まって2ヶ月。前年並に近い生徒を募集できた感がある。ただし、組合員間でも良いところと悪いところの差がある

■警備 **【県下全域】**

このほど、組合員が社会奉仕活動の一環としてJR千葉駅周辺のゴミ清掃活動を行なった。

■遊覧船 **【鴨川】**

長雨と週末の悪天候により前年比乗船客が3200人以上減少。

■建設 **【県下全域】**

当連合会加入組合員の官公庁からの受注額は19億7900万円であった。前月比では、プラス5億1600万円と微増。ただし、前年同月比では43億8000万円と大幅な減少で、特に市町村の発注が大幅に減少した。

■貨物運送 **【野田】**

大型連休のため売上は良くない。